

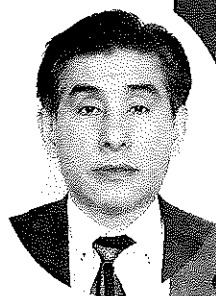
ブナの里

柔らかな日差しと青空に雪が映える黒松内町のブナの樹々

黒松内町ブナセンター 学芸員 齋藤 均 撮影

- ◇ 2022年 大代理事長 新年のあいさつ P2, 3
- ◇ 当法人事業所のある4町村長から新年のごあいさつ P4, 5
- ◇ 2021年 法人重大ニュース P6, 7

2022年 年頭のおぼろり



社会福祉法人黒松内つくし園

理事長 大代 貴輝

新年明けましておめでとございます。

2022年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

利用者・ご家族の皆様をはじめ、関係機関各位、地域の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当法人の運営に当たり、地域の皆様をはじめ黒松内町、俱知安町、京極町、泊村、関係機関の皆様には格別なるご支援ご協力を賜り心より感謝とお礼を申し上げます。さらには、法人役員とご家族の皆様にも日頃の法人運営へのご尽力並びにご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年は理事長として3年目の

事業年度を迎え、6月の役員改選において2期目を任されることとなりました。微力ではありますが

持てる力をこれまで以上に発揮し、法人運営の舵取りを行っているとさせていただきます。

そして、2021年度事業計画の実施と重点目標の達成に向けて、役員一同力を合わせて取り組んで参りました。上半期及び第3四半期が経過し、事業運営と収支状況は計画より良好化しており、役員員の経営目標に向けた取り組みと成果に敬意を表し、今後のさらなるご活躍を期待しております。

一方で、新型コロナウイルス感染症は第3波から第5波へと猛威を振るい、国内で緊急事態宣言の発出が相次ぎました。こうした中で東京五輪・パラリンピックが開催され、金メダルラ

ッシュに日本中が歓喜に包まれました。昨年秋以降、感染拡大は落ち着きを見せておりますが、福祉の現場は引き続き感染症対策の継続と、利用者の生命と暮らしを守るため日々努力しております。法人各施設では、工夫

をしながら行事や外出などのサービスを行っておりますが、利用者及びご家族の皆様には、ご不便をおかけしており、深くお詫び申し上げます。また、関係各位の皆様にはご理解とご協力いただき、感謝申し上げます。今後も継続して、より一層の良質なサービス提供に向けた取り組みを行って参ります。

今年も、オミクロン株など新型コロナウイルス感染症対策に追われることと思いますが、利用者及びご家族の皆様には、ご自身とご家族、周囲の大切な方々を守り、健やかな日々を過ごしていただききたいと願っております。まだ収束が見えない中ではあります。ですが、コロナ禍を皆様とともに乗り越えていきたいと存じます。さて、福祉・介護業界においては、職員確保が深刻な経営課

題となっております。当法人においても職員確保に大変苦慮しております。人材センターを中心に採用活動を行っており、各種セミナーや求人イベント、オンラインでの発信やWEB面接などを活用して対応を進めています。

介護人材確保が困難な中、当法人では他に先駆けて外国人介護人材の確保に取り組んで参りました。昨年までにベトナム人技能実習生15名とカンボジア人特定技能8名の受け入れを行ってきました。コロナ禍で入国が遅れておりますが、今年度はベトナム人技能実習3期生10名とカンボジア及びインドネシアから特定技能8名を受け入れる予定です。2022年の春には、外国人職員は総勢約40名となります。関係町村や地域の皆様にもご協力をいただきながら、多文化共生社会の実現を目指した取り組みをさらに進めて参ります。

社会福祉法の改正により「経営組織のガバナンス強化」「事業運営の透明性の向上」「地域における公益的な取組を実施す

る責務」等が社会福祉法人に求められています。当法人も法人本部の機能をさらに強化し、事務機能の本部集中化を進めていかなければなりません。また、新たな中長期ビジョンを示し、将来的な事業運営方針のもと、様々な経営課題に取り組んで参ります。

本年は、旧緑ヶ丘ハイツ建物の解体や外国人住宅確保などの施設整備を検討・実施し、将来のビジョンをもとに施設整備計画を再検討いたします。児童デイサービスセンターの建物は老朽化により再整備が急務となっています。移転場所や整備内容の検討を行い、関係機関・町村のご協力を得ながら決定して参りたいと思います。

事業運営についても、移転改築した緑ヶ丘ハイツの運営体制と経営状況の再検討を行います。事業再編を推し進めてきた倶知安地区についても、訪問介護や障がい者グループホームの運営形態を変更し、さらなる事業効率化を目指します。そして、2023年春に期限を迎える泊村

老人ホームむつみ荘の指定管理更新について、自治体と協議を進め法人内で様々な検討を重ねながら方針を決定して参ります。

今後とも様々な社会福祉の動向に対応しながら、地域福祉を積極的に推進し、地域における公益的な取り組みを行い、地域連携強化を目指します。そして、役職員をはじめ住民、関係団体、行政等地域ぐるみで福祉のまちづくりをさらに進めて参ります。

本年も黒松内町、倶知安町、京極町、泊村の地域福祉向上のために、役職員一同さらなる努力を重ねて参ります。社会福祉法人としての役割と使命をこれまで以上に果たしていきけるよう、より一層の取り組みを進めて参りたいと思います。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとつて実りのある1年となることを心よりご祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

謹賀新年

本年もよろしくお願ひ致します

社会福祉法人 黒松内つくし園 役員一覽

理事	大代貴輝
常務理事	遊部眞澄
(業務執行理事)	
業務執行理事	岡久孝雄
理事	茂尾実
	澁谷剛
	吉田剛
	小谷孝夫
監事	坂口進
	追立司
顧問	谷口徹
	稗田静男
評議員	松田政敏
	高木晴光
	高橋一彦
	本間崇文
	松田順子
	大迫克司
	小野裕
	佐々木剛
	大久保有慶

社会福祉法人 黒松内つくし園

児童養護施設 黒松内つくし園
 養護老人ホーム 緑ヶ丘老人ホーム
 障がい児入所施設 しりべし学園
 障がい者支援施設 しりべし学園成人寮
 特別養護老人ホーム 緑ヶ丘ハイツ
 診療 所 緑ヶ丘ハイツ診療所
 介護老人保健施設 湯の里・黒松内
 養護老人ホーム 慶和園
 特別養護老人ホーム ユニットケア慶和園
 障がい者支援施設 後志リハビリセンター
 保育 所 認定こども園黒松内保育園
 泊村養護老人ホームむつみ荘
 泊村特別養護老人ホームむつみ荘
 黒松内町デイサービスセンター
 黒松内つくし園居宅介護支援事業所
 黒松内つくし園ホームヘルプサービスセンター
 認知症グループホーム つくしんぼ
 南後志児童デイサービスセンター
 福祉ホーム羊蹄
 共同生活援助いずみホーム
 共同生活援助つくしホーム
 就労継続支援事業所 羊蹄セルブ他2カ所
 法人本部 01北海道寿都郡黒松内町字黒松内5621
 電話 0136(77)2833
 FAX 0136(75)7211

法人施設事業所のある4町村長より 2022年 新年のご挨拶

新年にあたって

佐藤 雅彦

黒松内町長職務代理人

黒松内町副町長

新年あけましておめでと
うございます。

社会福祉法人黒松内つくし園
の大代理事長をはじめ、役員
の皆様、また、施設の利用者
とご家族の皆様には、健やか
に新春をお迎えのこととお慶び
申し上げます。

例年ですと、鎌田町長より新
年のご挨拶を申し上げるところ
であります。昨年10月からの
入院加療に伴い、私が町長に代
わりご挨拶を申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス
感染症が猛威を振るう中、利用
者の皆様の健康と命を守るため、
様々な感染防止対策にご尽力い
ただいた福祉医療従事者の皆様
に、心からの敬意と感謝を申し

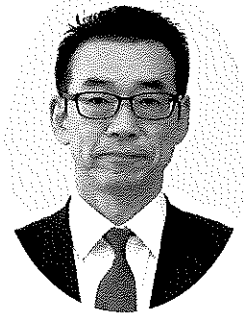
上げます。町としても、安全で
安心な日常生活を取り戻すため
に、貴法人と共に取り組んで参
ります。

ウイズコロナの下、社会生活
や価値観が変化をする中で、多
様化する生活支援ニーズや社会
的孤立、貧困等を背景とする深
刻な生活課題に対し、地域共生
社会の実現を目指して、制度・
分野を超えた包括的・重層的な
取組が進められています。社会
福祉法人におかれましても地域
における公益的な取組や現場職
員の処遇改善などが求められて
います。

大代理事長を中心として、職
員の方々の英知を結集し、これ
らの難局を乗り越え、本町のみ
ならず広域の地域に密着し、時
代と地域の要請に応えた質の高
い福祉サービス体制を展開され
ますことを期待しております。
結びにあたり、貴法人が更なる
飛躍を遂げられますとともに、

関係各位の益々のご健勝とご多
幸を心からお祈り申し上げ、新年
のご挨拶とさせていただきます。

年頭ご挨拶



文字 一志 倶知安町長

新年あけましておめでと
うございます。

貴法人の役員をはじめ、施
設の入所者・利用者、またその
ご家族の皆様におかれましては、
希望に満ちた新春をお迎えのこ
ととお慶び申し上げます。

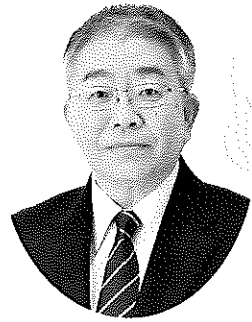
急速に進む少子・高齢社会に
おいて、自立が困難な高齢者の
住環境問題、障がいを持つ方の
就労支援など本町が抱える福祉
行政課題に対し、貴法人が施設
整備等でご尽力頂いております
ことに改めて敬意を表する次第
であります。

貴法人が本町において整備さ
れた主な施設である、複合福祉
施設「つくしんぼ」、グループ
ホーム「かぜ」、「そら」は、倶
知安町にしっかりと根付き、本
町はもとより、これら施設の利
用者並びにご家族の方も大変感
謝しているところでございます。

昨今の、様々な福祉制度改正
が進んでいる中、黒松内つくし
園に代表される専門性・経験豊
かな社会福祉法人、NPO等の
役割は大きく、皆様方の協力・
協働がなければ、この難局は乗
り越えられないと感じておりま
すので、本町に対する、貴法人
の一層のご協力をお願い申し上
げるところであります。

また、新型コロナウイルスの
感染拡大に落ち着きが見られる
とは言えまだまだ予断を許さな
い状況が続いており、様々な感
染防止策にご尽力されているこ
とに、心より感謝申し上げます。
末筆になりますが、貴法人の
益々のご発展、ご活躍と皆様にと
りまして良い年になりますよ
うご祈念申し上げます、新年のご
挨拶とさせていただきます。

新年にあたって



梅田 禎氏 京極町長

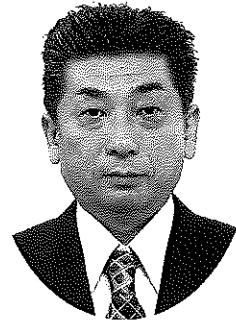
新年あけましておめでとうございます。

貴法人の役職員の皆様をはじめ、施設のご利用者のご家族の皆様におかれましては、令和4年の新春を健やかに迎えのことうお慶び申し上げます。

また、日頃より、本町の社会福祉の向上に深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げますとともに、日々、新型コロナウイルスの感染予防に取り組みされている貴法人施設職員並びにご利用者から敬意を表します。

さて、貴法人が本町で運営されております「養護老人ホーム慶和園」や「特別養護老人ホームユニットケア慶和園」は、専

年頭ご挨拶



高橋 鉄徳 泊村長

新年明けましておめでとうございます。

希望に満ちた輝かしい令和4年の新年をお迎えになられました貴法人の役職員の皆様、施設をご利用されております皆様及びご家族の皆様には、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より老人ホーム（特養・養護）の運営、サービス利用者様やご家族様への適切な対応など、地域福祉の向上に寄与いただいていることに対しまして感謝申し上げます。本村にとりましても、福祉事業は重要政策の一つで、むつみ荘は大きな役割を果たしていただいているところであり、貴法人におかれましては、なお一層のご協

力をお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症対策に取り組むとともに、生活の様式や働き方、仕事のあり方が激変した1年でした。緊張感の中の生活が続き、本当に大変な毎日をお過ごしのことと思います。が、感染症対応を続ける中、施設での面会が再開され、サービス利用者様とご家族様が直接、相互に触れ合う喜びや安堵など交流が再開された矢先、新たな変異株への警戒をしなければならぬ状況となりました。今後、追加接種（3回目）を円滑に進めるとともに、感染防止行動を実践しながら一日も早い終息を願っております。

結びにあたり、社会福祉法人黒松内つくし園の益々のご繁栄と職員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。本年も発展と喜びの多い明るい年になるようよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人黒松内つくし園 2021年重大ニュース!

当法人の「2021年重大ニュース」が決定しました。

新型コロナウイルス感染の拡大や減少を繰り返す中、医療・福祉施設の現場では感染対策強化の持続と新しいスタイルでのサービス提供など、役職員一丸となって日々奮闘しています。

2021年6月には役員改選が行われ、大代理理事長が再任、新理事を加えた役員体制がスタート。社会福祉法人を取り巻く環境が厳しさを増している中、倫理綱領のもと利用者主体の自立支援サービスを提供し、社会貢献へ向けた公益的取組を行ってまいります。

そのような中、福祉人材確保のため、外国人介護職員の採用に取り組んできました。

2022年春には、ベトナム人技能実習生3期生とカンボジア人・インドネシア人特定技能職員が配属されます。

さて、この2022年、どのような話題が会報「ブナの里」の紙面を飾るのでしょうか。法人にとって皆様にとって、明るいニュースがより多く伝えられることを期待します。

☆緑ヶ丘ハイツ診療所所長に秋野恵美子氏が就任(1月)

☆倶知安地区障がい者就労支援事業所「ありか」が事業廃止、複合施設つくしんぼ2階を改修し、「キッチンありか」として弁当事業を開始(1~2月)

☆ベトナム人介護技能実習生7名と今回が初となる医療・福祉施設給食製造部門で2名が着任(2月) =写真=



☆倶知安地区障がい者就労支援事業所「ありか」の土地・建物を売却(3月)

☆慶和園で新たな社会貢献事業として、北海道の新型コロナ感染対策事業「在宅要介護者受入事業」を受託・開始(3月)

☆しりべし学園施設長に富樫孝貴氏が就任(4月)

☆児童養護施設黒松内つくし園で本園利用定員を80名から75名に変更(4月)

☆黒松内保育園で子育て一時預かりサービス事業「さんさんルーム」を開始(4月)

☆法人辞令交付式で新卒採用者6名と中途採用者6名が辞令を受け取る(4月) =写真=



☆法人奨学資金50,000円を高校生20名に支給(4月)

☆苦情解決委員長を22年にわたって務められた三坂司氏が退任。後任に古谷智佐子氏が就任（5月）

☆法人各施設で新型コロナワクチン接種を開始、ほぼすべての利用者・職員が2回接種を完了（5～10月）

☆役員改選により稗田静男氏、中畑英司氏、小泉満氏、片桐澄子氏が評議員を退任。評議員として新たに松田順子氏、大迫克司氏、小野裕氏、佐々木剛氏、大久保有慶氏を加え9名となる（6月）

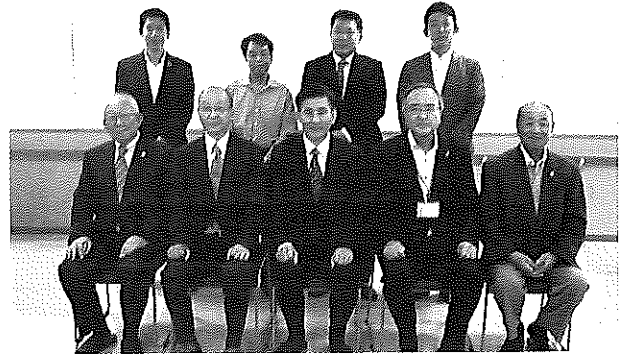
☆役員改選により当法人理事長に大代貴輝氏を再任。常務理事（業務執行理事）に遊部眞澄氏、業務執行理事に岡久孝雄氏を再任、新たに理事として小谷孝夫氏が就任。評議員を退任した稗田静男氏が新たに顧問に就任

（6月）＝写真＝

☆黒松内保育園で町内の通園・送迎が困難な世帯などを対象に、社会貢献事業として送迎サービスをスタート（7月）＝写真＝

☆黒松内つくし園が児童福祉施設サービス第三者評価を受審する（10月）

☆コロナ禍の中、法人各施設で感染対策を徹底して2021年年末行事を開催する（12月）



謹賀新年 えぞふじ納豆

安心安全な道産大豆を使用

北海道の自然の恵みたっぷり



製造 羊蹄セルプ

TEL 0136-23-0425

北海道虻田郡倶知安町字峠下 113-14

こどもからおとなまで楽しめる喫茶

喫茶 陽だまり

ミニ図書室、絵本コーナー、
フリーWi-Fi完備♪

キッズルーム・マンガ約15,000冊
地域交流スペースも設置しており、
団体での会議や交流の場としても
ご使用可能です。



営業時間 10:00～17:30

ランチタイム 10:00～14:00

定休日 日曜日

TEL 0136-55-5000

北海道虻田郡倶知安町

南3条西1丁目17

法人保育・介護施設で中高生福祉職業体験実習が再開

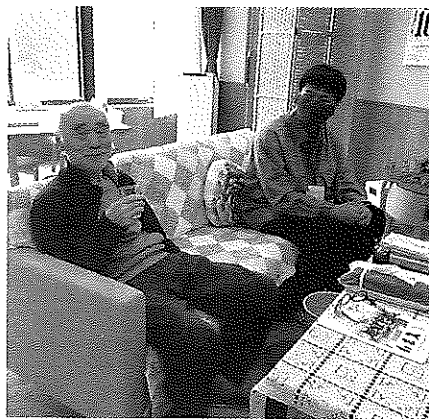
法人社会貢献事業として、未
来の福祉人材育成のため、地域
の中高生や専門学校・大学など
から実習や職場体験を積極的に
受け入れていきます。新型コロナ
拡大により自粛等が相次いでき
ましたが、昨年の秋から道内の



感染状況が落ち着いてきたこと
もあり、各施設で受入を再開し
ました。黒松内保育園では、黒
松内中学校と白井川中学校より、
家庭科の授業や職業体験で中学
生が来園し、保育園児と触れ合
いました。園児達は、大きなお
見さんとお姉さんに遊んでもら
ったり、一緒にサンタクロース

を作ったり、天気が良い日には
散歩や園庭で雪遊びをしたりと、
元気一杯触れ合うことができま
した。

今年の1月には、黒松内小学
校6年生の皆さんが、保育士の
仕事について体験学習のため来
園予定です。



泊村特別養護老人ホームむつ
み荘では、岩内高校のインター
ンシップとして2年生1名を2
日間を受け入れました。車椅子
を押したり、車椅子に乗り利用
者の目線になって施設内を見学
したりしました。初めて乗った車
椅子に「スピードが速いと怖い」
など、気付いたことを話してく
れました。また、利用者と笑顔
で会話していると「今度、将棋
しよう!」と誘われる場面もあ

りました。帰った後も関わった
利用者は「若いっていいな、俺
の若いころは・・・」などと話
されていました。生徒は「将来
は介護の仕事がしたい」と話し
ていて、素敵な介護士になって
くれることを期待しています。

慶和園実践報告会開催

慶和園では、11月24日に実践
報告会を開催しました。実践報
告会の趣旨は、「実践をふりか
えり、まとめ、報告する事を通
して自己・他己評価を共有。自



分たちのケアを掘り下げ、検証
結果を踏まえて次の取り組みに
繋げる」というものです。特養
と養護を合わせて4つのセクシ

ョンより報告を行いました。慶
和園の運営テーマ「ご利用者の
為に宣言」関係性の質から始ま
るグッドサイクルを回す」を
多職種一体となって利用者に関
り実践してきた事を、チームで
振り返り発表しました。また、
どの発表も新人職員が担当とな
り、新人ならではの視点や考え
方、チームの一員として利用者
に関わって感じた喜びや難しさ
を共有しました。今年度は外部
評価として、特別養護老人ホー
ム真狩羊蹄園の佐々木施設長と
養護老人ホームかるな和順の寺
井施設長にお越しいただき、そ
してWEBにて特養・老健・医
療施設ユニットケア研究会代表
の武田和典氏にもご参加いた
きました。それぞれの発表に対
して貴重な意見やアドバイスを
いただき、それを受け発表の後
にはグループワークを行い、各
ユニットの取り組みが利用者にと
ってどのようなものだったの
かを振り返り共有しました。今
後の私たちの利用者との関わり
方などに生きていく貴重な時間
となりました。

ボランティア除雪

例年大雪に悩まされる黒松内町も12月は雪が降らず、皆さん口々に「雪のない師走はいいね」などと話し喜んでいました。しかし、12月19日頃より帳尻を合わせるように、毎日強烈な寒波と大雪が続き、黒松内町は雪に囲まれてしまいました。



法人施設では毎年、黒松内町社会福祉協議会の依頼により、独居高齢者宅のボランティア除雪を行ってきました。今年は例年より早い12月に実施しました。排雪後は、「窓から明りが入るようになった」、「お正月も安心だ」と喜びの声が聞かれました。緑ヶ丘老人ホームでは、夏に

は大鳥神社の境内清掃、12月31日は境内の除雪を、開設以来毎



年欠かさず社会奉仕の一環として行っています。

大晦日には、今年も職員のみで行いましたが、これからも開設当初の想いに寄り添い、伝統を守っていききたいと思えます。

黒松内町より補助を受け送迎車両更新!

黒松内町デイサービスセンターでは、黒松内町から補助をいただき、利用者送迎用車両の更新を行いました。12月1日、念願であった新車が納車となりました。

それまで使用していた車両は、昨年6月に故障のため、廃車となりました。そのため、送迎の際には利用者に様々なご不便をおかけしていました。



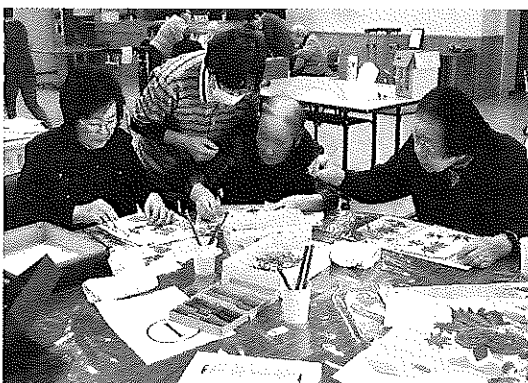
今回導入した車両は、日産のキャラバン10人乗りで、前車よりも一回り大きくなりました。2列目の座席を収納すると、車いす2台が対応可能で、ストレッチャーも搬送することができるようタイプとなっています。

同日、あいにく雨の中ではありますが、交通安全を祈願しました。

職員一同、利用者の皆様に安心して快適に利用いただくため、安全運転に努めてまいります。

「木の葉交流会」開催

緑ヶ丘老人ホームでは地域住民の方と木の葉メール作りで交流会を行っていましたが、新型コロナウイルスの影響によりメールのやり取りのみの交流となりました。参加された利用者は、落ち葉や押し花を張って素敵なハガキを手作りしました。自分の作っただけは誰に届くのか、そしてまた自分にはどなたから届くのか、皆さん楽しみにしながら行っていました。コロナ禍でも利用者楽しんで頂けるよう工夫しながら継続していききたいと思います。



年末行事特集

感染対策を徹底して利用者が笑顔となるよう年末の催しを行いました。

湯の里・黒松内「クリスマス会」

12月22日にクリスマス会を開催しました。事務所職員によるハンドベル演奏、作業療法士によるオカリナ、フルート演奏を鑑賞され、きれいな音色に利用者の皆さんは惜しみない拍手をくれました。その後は外国人技能実習生と特定技能職員がサンタクロースとトナカイに分かれ、利用者の皆さんにプレゼントを渡し、最高の笑顔を見ることができました。



緑ヶ丘ハイツ「クリスマス会」

12月24日にクリスマス会を開催しました。職員がサンタやトナカイなどに扮し、「マイム・マイム」を踊ったり、ジングルベルを利用者と一緒に歌ったりして楽しみました。その後、クリスマスプレゼントを配り、クリスマスケーキを食べながらクリスマスの雰囲気を楽しみました。利用者の皆さんは「とっても楽しかった」と笑顔で話してくれました。



黒松内保育園「クリスマス会」

12月23日、毎年恒例のクリスマス会が行われました。今年もサンタさんがプレゼントを持って来てくれました。サンタさんからのプレゼントに、お礼の歌や踊りを張り切って披露しました。「来年も来てね」と子ども達からの言葉に、微笑んでうなずいてくれました。



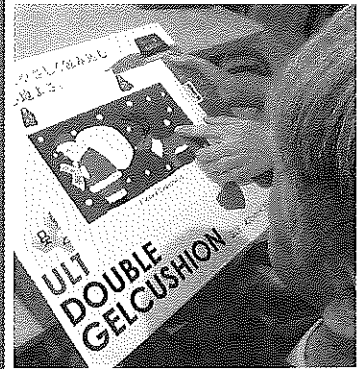
後志リハビリセンター「クリスマス会」

12月24日にクリスマス会を開催。今回の催し物は手作りのツリーに飾りつけてもらうデコツリー対決、職員が扮したサンタが誰かを当てるゲーム、職員の私物から誰の物かを当てる連想ゲームを行いました。ゲーム終了後は施設長サンタよりプレゼントの配布を行ない、夕食は豪華特別メニューに舌鼓を打ち楽しい一日を送る事ができました。



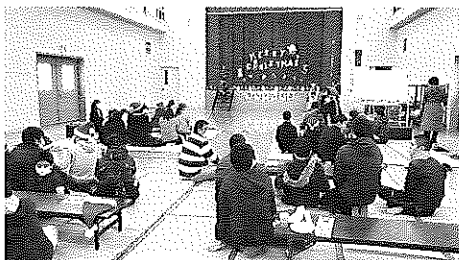
ユニットケア慶和園「クリスマス会」

各ユニットごとにクリスマス会が今年も開催されました。めいすいユニットでは、利用者にクリスマスケーキと実用的なクッションのプレゼントが贈られ、笑顔あふれるひとときを過ごしました。



しりべし学園「クリスマス会」

12月25日に児童棟のクリスマス会が開催されました。前年度に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染予防の為、三密や換気を徹底しながら体育館で行いました。コロナ禍のため我慢をすることが多いですが、この日を楽しみにしていた分、職員の出し物で笑いに包まれました。利用者の皆さんは歌やダンスなどの出し物を精一杯練習し、本番では練習の成果が出ていて大盛り上がりでした。ラストにはサンタとトナカイから待ちに待ったプレゼントが渡されて、この日一番の笑顔がたくさん見られました。



しりべし学園成人寮「クリスマス会」

12月23日、成人寮のクリスマス会が行われました。午前中は体育館でトーナメント形式のボール入れゲームを行い、利用者の皆さんで楽しみました。各棟の優勝チームには優勝メダルが、参加した利用者さんには参加賞のメダルが遊部施設長より贈呈され、皆さんの笑顔がたくさん見られました。



2021年 法人

法人各施設ではコロナ禍で行事の中止や規模を縮小をしながら、

後志リハビリセンター「餅つき大会」

12月8日、毎年恒例の餅つき大会を行いました。黄色い法被を身に着けた皆さん。「よいしょー！」という元気な掛け声とともに、力いっぱい杵を振り下ろしてしまし

た。普段明るく活発な方も、いつもは物静かな人も、この時ばかりは餅つき職人に早変わり！

いつもより大きな声と笑顔でもちつきを楽しみ、ついたおもちを美味しくいただきました。



湯の里・黒松内「餅つき」

12月27日、2年ぶりに「餅つき」が行われました。感染対策をしっかりと行いながら、杵と臼を使い皆さんで餅をつきました。利用者と職員が一体となり、威勢の良い掛け声と杵が餅をつく音が施設内に響きました。つき上がった餅は、事務所職員が小さく丸め、昼食は定番の「お雑煮」となりました。皆さん、お雑煮を

食べながら、餅つきの昔話をするなど楽しいひと時を過ごしました。



黒松内保育園「もちつき」

感染対策を万全に行い、2年振りに「もちつき」を行いました。子ども達は、ふかしたもち米から試食して、杵と臼でのもちつきを体験しました。もちが、鏡餅に変身したのを見ると大喜びで、給食に食べた「あんこ

・きなこ・砂糖醤油味」のもちにも大満足、日本古来の行事に触れた喜びの機会となりました。

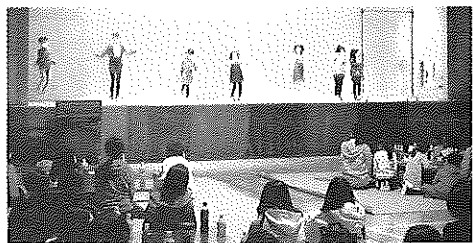


つくし園「クリスマス会」

12月25日、つくし園のクリスマス会が体育館で行われました。

つくし園ではお世話になったボランティアの方々や各学校の先生などをお招きして、毎年クリスマス会を行っていました。しかし、去年は新型コロナウイルスの影響で中止となり、子ども達は部屋ごとにクリスマスを過ごしました。

今年は感染対策を徹底して、大代理事長と遊部常務理事、当法人の外国人職員4名をお招きして2年ぶりに行いました。会では歌やアクロバット等の発表やサンタとじゃんけん大会、ビンゴ大会などが行われました。来賓の方々もイベントに参加してもらい楽しい時を過ごした後、夕食は各部屋でオードブルや生チラシなどのごちそうを、クリスマス会を振り返りながら食べました。



泊村むつみ荘「クリスマス会」

クリスマス行事が各ユニットそれぞれに行われ、出前を取ったり、職員が作った料理を食べたり、プレゼント交換をしたりと楽しみました。バイキング形式で昼食を食べた利用者からは「

自分で選べて楽しかったよ」などの声が聞かれました。養護ゆらりユニットは、泊中学校文化部による「ハンドベル演奏会」がZOOM配信で行われ、綺麗な音色に「クリスマスらしくていいね」と皆さん喜ばれていました。



黒松内町サービスセンター「忘年会」

12月20日からの1週間、この1年を振り返り、またクリスマス会も兼ねて忘年会が開催されました。

職員による余興では、歌あり踊りありで、センター内は冬の寒さを忘れるほどの熱気に包まれました。

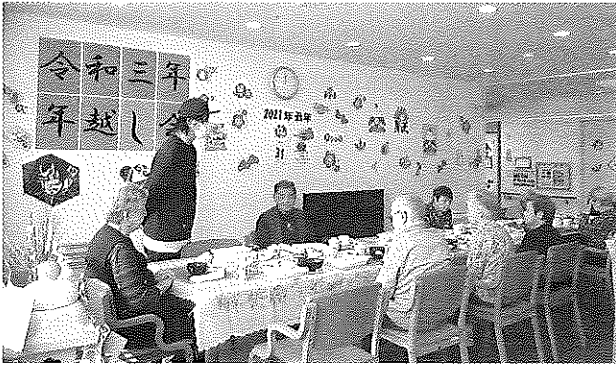
「久々にこんなに笑った」と喜びの声が上がっていました。



2021年法人年末行事特集

グループホームつくしんぼ「年越し会」

今年も新型コロナ対策として、各ユニットに分かれて12月31日に年越し会を開催いたしました。テーブルの上には日本橋の生寿司や、職員手作りの茶わん蒸し、うま煮、お吸い物、フルーツが用意され、「おいしいね。日本橋はネタが大きい」と笑顔で舌鼓を打ちました。夕食にはてんぷらそばを作り、皆でゆったりと年越しを過ごしました。



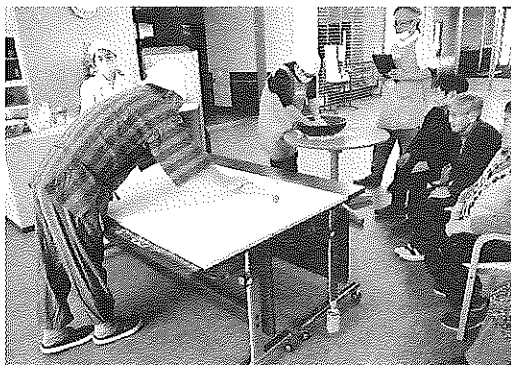
緑ヶ丘老人ホーム「園内年取り」

12月30日、園内年取りが盛大に行われました。毎年恒例の職員による紅白歌合戦が行われ、2年連続となる紅組勝利で幕を閉じました。それぞれ趣向を凝らし、アイデアを練って披露した甲斐あって、会場は大きな笑い声と笑顔であふれました。



緑ヶ丘老人ホームとハイツで「そば打ち」

12月31日、緑ヶ丘老人ホームと緑ヶ丘ハイツ合同で毎年恒例のそば打ちを、ハイツの1Fロビーにて行いました。老人ホームの利用者は会場で見学する方もいて、緑ヶ丘ハイツの利用者にはライブ配信を行いました。その日の昼食には、打ちたてを年越しそばとして振る舞い、新年の健康を祈念して美味しくいただきました。



泊村むつみ荘 衣類のお買い物

12月22日、毎年恒例行事となっている、養護被服購入が行われました。利用者の皆さんは、お店の方や職員と相談しながらお目当ての衣類を選んでいました。施設内で衣類等が購入できる年末のピックイベントに、皆さんとても嬉しそうに買い物されました。



慶和園「まゆ玉飾り」

大掃除などいろいろな年末行事を行い、一年の締めくくりとしてまゆ玉飾りを行いました。今年もきれいに出来上がり、準備万端で新年を迎えることができました。



黒松内町サービスセンター 「繭玉飾りつけ」

12月27日、月曜会の皆様にお手伝いを頂き、繭玉飾りつけを行いました。「懐かしいね。昔はどの家でもやってよ」「餅も付けたんだよ。食べて怒られた」などと、昔話も飛び出しました。

緑ヶ丘ハイツ 「繭玉飾り」

繭玉飾りを利用者の皆様にお手伝いいただきました。お正月の準備がきれいに整いました。

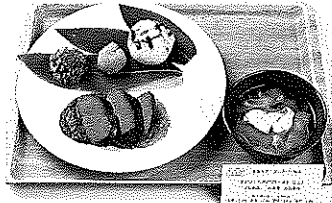


リハビリ吉田法人栄養士が「タニタごはんコンテスト」でグランプリ受賞!

健康機器や食堂でのヘルシーメニュー提供など健康経営に取り組んでいる大手企業の㈱タニタが主催する「第4回ご当地タニタごはんコンテスト」が11月28日に



開催されまし た。後志リハビリセンター、吉田善哉栄養士が他2名とチームを組み、北海道・東北ブロック代表として出場し、見事グランプリを獲得しました。吉田チームは昨年に引き続き、



2度目の出場です。今年はアイヌの食文化に焦点をあてた「エゾ鹿肉のロースト」など、北海道の郷土料理をアレンジしたメニューで応募し、書類審査を経て全国大会へと進みました。

コンテスト当日は民族衣装もばっちり決まり、発表にも余裕が感じられていました。当日は、後志リハビリセンターでも、利用者者と職員が動画配信を見ながら「美味しそう」「施設でも作

って欲しいね」と話しながら応援していました。出場しただけでなく、栄えあるグランプリ受賞にびっくりしましたが、素晴らしい結果に利用者者と職員みんな喜び、誇りに思っています。

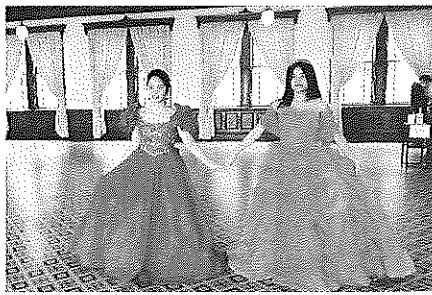


グランプリ結果はタニタのホームページに大きく掲載され、報を受けた法人のブログ等でも発信しました。また、大代理事長より表彰状を贈呈し、労をねぎらいました。これからおいしい食事を提供し続けて下さい。

外国人職員が各施設で職員・地域との交流を深めています

当法人には、多くの外国人職員が着任し、ベトナム人技能実習生15名、特定技能カンボジア人8名がそれぞれ8施設で活躍しています。

外国人職員の方々が、日本や地域に親しみつつ、多くの職員と交流を持ってもらうため、事業所で様々な企画をしています。フォンさんとグエットさんは、



後志リハビリセンター職員 の付添いで、待望の函館観光をしました。旧函館区公会堂で衣装をレンタルして何枚も「映える」写真を撮っていました。

ユニットケア慶和園では、洞爺湖で「女子会温泉旅行」を開催し4名が参加しました。初めての温泉に恥ずかしがりながら

も、「気持ちよかった!」と楽しんでいました。所属施設以外でも、交流の輪は広がっています。

フットパスイベントに参加したソピアクさんは、町民の方から「山に登ったら『ヤッホー』と大きな声で言うんだよ」と教わっていました。黒松内つくし園のクリスマス会に招待されたスレイポーさんは、クイズで出題されたカンボジアの料理について日本語で説明していました。

ほんの一例を紹介しました。これからも、地域と事業所をもっと好きになってもらえるよう取り組んでまいります。



法人会務の運営状況

(2021年10~12月開催分)

- ◆ 10月5日 人事考課委員会
- ◆ 10月11日 苦情解決委員会
- ◆ 10月12日 施設長・副施設長会議
- ◆ 10月25日 第425回 理事会
- ◆ 10月25~26日 内部監査
- ◆ 10月27日 監事監査
- ◆ 11月4~8日 資金収支ヒアリング
- ◆ 11月9日 施設長・副施設長会議
- ◆ 11月25~26日 あすの監査法人期中往査
- ◆ 12月13日 苦情解決委員会
- ◆ 12月15日 施設長・副施設長会議
- ◆ 12月20日 第426回 理事会

ご厚志に心から感謝申し上げます

(令和3年9月1日から令和3年12月15日まで) 敬称は略させていただきます。
また、常勤役員からのご厚志については、お名前を控えさせていただきます。

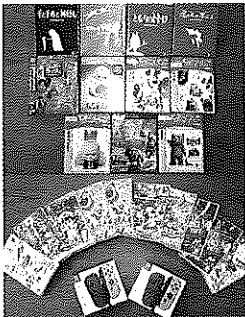
半田キミエ、しりべし学園あいご会、黒松内つくし園後援会、(有)名取商店、松田政敏(以上黒松内町)、菅原徹(島牧村)、千葉哲夫(寿都町)、篠田眞治、篠田和子、竹岡秀樹、工藤文男、飯野泰子(以上長万部町)、山田英男(倶知安町)、澤田貞子(室蘭市)、武村行男(函館市)、ダル・コルポ(小樽市)、加藤守、北海道新聞社会福祉振興基金、遠藤健次(以上札幌市)、小山正義(士別市)、木村芳一(大阪府堺市)、櫻井智恵(東京都)

黒松内つくし園の子ども達にクリスマスプレゼント届く

12月25日、黒松内つくし園卒業生の滝吉正人さんと(株)上田商會の上田社長様が来園し、ケーキ82個とお菓子をプレゼントして下さいました。上田商會様が2019年からケ—キを寄贈して下さいになり、今年で3回目となります。



北海道コカ・コーラグループ労働組合連合会様より組合員の100円以下の給与を集めた「100円未満基金」を送っていただき、アニメディスク11巻とゲームソフト10本、コントローラー2組(合計約12万円相当)を購入さ



せていただきました。連合会様は毎年この基金を道内の様々な施設に寄贈して下さいます。子ども達は、素敵なクリスマスプレゼントにとっても感謝しています。暖かいご厚志誠にありがとうございます。

京極小学校より車椅子1台が寄贈される

ユニットケア慶和園に京極小学校より車椅子1台が寄贈されました。この車椅子は京極小学校の皆さんが缶ジュースなどのプルトップを集め車いすに交換した物です。中田校長先生のお話によると「プルトップ集めるのに8年間、ドラム缶約10杯分が車いす1台になりました」との事。集め始めた頃の小学一年生が中学2年生になりました。

皆さんのご厚意を大切に使用させていただきます。誠にありがとうございます。ありがとうございました。

